

# 社会福祉法人 大阪愛心会

## 2019 年度 事業報告

### ■社会福祉法人 大阪愛心会（法人本部）

- (1) 社会福祉法人大阪愛心会
- (2) 特別養護老人ホーム事業
- (3) 短期入所生活介護事業
- (4) 通所介護事業
- (5) 地域包括支援センター

社会福祉法人 大阪愛心会  
2019年度 事業報告

【法人本部】

1、運営事業

平成 26 年 9 月 1 日 特別養護老人ホーム久宝寺愛の郷 入所定員 50 名  
同 同 短期入所定員 10 名  
同 デイサービス 久宝寺愛の郷 利用定員 32 名(1月から335 名)  
平成 29 年 4 月 1 日 地域包括支援センター業務委託(八尾市)

2、理事会

第 1 回 2019 年 5 月 22 日

第 1 号議案 監事監査報告  
第 2 号議案 2018 年度事業報告について  
第 3 号議案 2018 年度決算について  
第 4 号議案 役員候補者の承認  
理事長選任  
業務執行理事の選任  
その他

第 2 回 2020 年 3 月 4 日(新型コロナウイルス感染症対策のため書面決議)

第 1 号議案 2019 年度対予算進捗状況  
第 2 号議案 2020 年度事業計画について  
第 3 号議案 2020 年度予算について  
第 4 号議案 借入金(西日本シティ銀行分)の借換えのご報告  
その他

3、評議員会

第 1 回 2019 年 6 月 12 日

第 1 号議案 監事監査報告  
第 2 号議案 平成 30 年度各事業報告  
第 3 号議案 平成 30 年度決算について  
第 4 号議案 理事・監事候補者の承認について  
その他

第 2 回 2020 年 3 月 18 日

第 1 号議案 2019 年度対予算進捗状況

- 第 2 号議案 2020 年度事業計画について
- 第 3 号議案 2020 年度予算について
- 第 4 号事案 借入金(西日本シティ銀行分)の借換えのご報告
- その他

2014 年 9 月に開設し、今年で 5 年が経過した。この間、社会福祉法の改正があり、社会福祉法人のガバナンスの強化がはかられた。当施設も、地域貢献の意識を強くし、第三者評価に耐えうる組織運営を実施してきた。2000 年に介護保険が新設され、支出される介護費の総額は 10 兆円を超え、2025 年には 15.3 兆円と予測されている。2018 年度から 3 割負担も導入され、高齢者にも相応の負担が課されるようになった。団塊の世代が 75 歳以上になる 2025 年には、介護を担う人材が新たに 55 万人必要といわれている。そのような環境の中で、昨年 10 月からは、消費税の増税に伴い、介護報酬の見直しや特定処遇改善加算の導入などがあった。1 月末からの新型コロナウイルス感染症が社会問題となり、3 月 12 日に予定されていた八尾市による指導監査が延期となった。

#### 運営状況

##### 特別養護老人ホーム 久宝寺愛の郷(50 床)

入居者の要介護度の平均は 4.5、平均年齢は 85.7 歳である。地域別では八尾市在住の方が 82%であった。平均の入所数も 49.7、稼働率 99.4%とほぼ満床の状態で推移した。退所は 14 名で昨年と比較すると大幅に少なかった。活動収益は対前年比+1.0%となった。看取りを積極的に推進し、10 名の方を看取らせていただいた。併い入院する利用者の方は少なくなった。課題としては、100 名を超える入居待ちの方への対応、一部加算の取得等。

##### ショートステイ久宝寺愛の郷(10 床)

当初、短期入所は地域の緊急要望に応えることが重要と考え、働率の目標を 80%においてきた。しかし、要望が多く 2 ヶ月後の予約を取っているが、ほぼ 100%に近い状況である。そのため緊急にお応えできない状況が続いている。活動収益は、対前年比+7.1%となった。課題は 10 室という小規模の事業運営で何処まで地域ニーズに応えていけるかである。

##### デイサービス久宝寺愛の郷(定員 35 名)

稼働率を 90%に近づける目標をおいて取り組んだが、80.8%と未達成に終わってしまった。登録数は増えたが、利用に結びついていない。また、当日キャンセルが 5 名以上もある日があり、この対策も出来ていない。要介護度が低いことも課題である。その中で、個別機能訓練に力を入れて、一定の成果が出てきたように思う。事業活動収益は前年比+0.3%だった。

来年からは目標に向けて具体的な対策を実施する。サービス内容の質、利用者のニーズの把握、食事提供の工夫など考える余地はたくさんある。

##### 八尾市地域包括支援センター(公益事業)

2017 年 4 月に新設センターとして立上げ 3 年が経過し、相談受付件数も今年は 3,840 件と大幅に増加した。要支援のプラン委託も 3,182 件に増加した。また、困難事例の相談も増えており、現状の人員では、地域のニーズに十分な対応ができない状況である。介護予防教室や家族介護教室なども開催し、地域への情報提供も積極的に行った。高齢化していく中で、地域での役割は、益々重要となってくる。

#### 職員の状況

どの職種も雇用が難しいのは、当施設においても例外ではない。特に調理助手やデいの運転手などはタイミングよく雇用できていない。ただ、介護士については人材確保できており、そのほとんどは職員紹介

であった。一般の求人媒体での求人は難しく、費用をかけても成果があがらないのが現状である。職員が紹介したいと思える施設作りをしていくと共に、外国人材の受け入れについても考慮する時期にきている。職員の平均年齢が 49 歳となっているため、事業継続のためにも若返りを考えていかなければならない。職員一人ひとりが愛の郷に愛着を持ち、職員と愛の郷が一体となってお互いに成長し合っている環境を作ることが重要である。

#### 職員数

| 部門   | 職種       | 常勤 | 非常勤 |      | 人数計 | 換算計  |
|------|----------|----|-----|------|-----|------|
|      |          |    | 人数  | 換算   |     |      |
|      | 管理者      | 3  |     |      | 3   | 3.0  |
| 特養   | 事務       | 1  | 2   | 0.8  | 3   | 1.8  |
|      | 生活相談員    | 1  |     |      | 1   | 1.0  |
|      | 介護支援専門員  | 1  |     |      | 1   | 1.0  |
|      | 医師       |    | 2   | 0.2  | 2   | 0.2  |
|      | 看護部      | 3  | 2   | 1.0  | 5   | 4.0  |
|      | 栄養部      | 5  | 4   | 1.4  | 9   | 6.4  |
|      | 介護職      | 20 | 12  | 6.2  | 32  | 26.2 |
| 短期入所 | 介護職員     | 5  | 4   | 2.4  | 9   | 7.4  |
| デイ   | 生活相談員    |    |     |      | 0   | 0.0  |
|      | 看護部      | 1  | 2   | 1.3  | 3   | 2.3  |
|      | 機能訓練     | 1  |     |      | 1   | 1    |
|      | 介護職員     | 1  | 5   | 4.3  | 6   | 5.3  |
|      | 運転手      |    | 4   | 1.8  | 4   | 1.8  |
| 地域包括 | ケアマネ・保健師 | 2  |     |      | 2   | 2.0  |
| 合計   |          | 44 | 37  | 19.4 | 81  | 63.4 |

#### 【特別養護老人ホーム久宝寺愛の郷】

1ユニット10名の生活が、より家庭的な雰囲気の中で生活出来る様に努力する中、日常業務に24時間シートを導入、職員間の情報共有を図り、入居者様本来の生活リズム・パターンに活かせるよう取り組んだ。また個人の希望、家族様の希望に少しでも寄り添えるサービスの提供を心がけ、安心して過ごして頂けるよう、信頼関係の構築に努めた。まだまだ個々のサポート内容に不足するところもあるが、看取りを希望される方も増加しており、最期まで「暮らしの継続」となるユニットケアの提供を実施していく。

1、入所定員 50 名

2、入居者の状況

(1)入退居状況

平成 31 年度中の入退居状況は次の通り。

〔月毎の入居数、退居数〕

| 月     | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 1  | 2  | 3  | 合計 |
|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 入居数   | 0  | 1  | 1  | 1  | 0  | 3  | 1  | 0  | 3  | 2  | 2  | 0  | 14 |
| 退居数   | 0  | 1  | 1  | 1  | 0  | 3  | 1  | 0  | 3  | 2  | 2  | 0  | 14 |
| 末日の人数 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 |    |

〔入居前の状況〕

| 合計数 | 病院 | 老健 | サ高住 | 在宅 | その他施設 |
|-----|----|----|-----|----|-------|
| 14  | 2  | 1  | 3   | 7  | 1     |

〔退居後の状況〕

| 合計数 | 長期入院 | 他施設への転居 | 医療機関への転居 | 死亡(看取り) | 死亡(入院中) | 死亡(施設) | 在宅 |
|-----|------|---------|----------|---------|---------|--------|----|
| 14  | 1    | 1       | 1        | 10      | 0       | 0      | 1  |

(2) 構成

平成 31 年 3 月時点での入居者構成は次の通り。

|        | 男性  | 女性  | 全体  |
|--------|-----|-----|-----|
| 最高年齢   | 92  | 99  |     |
| 平均年齢   | 80  | 87  | 86  |
| 平均要介護度 | 4.4 | 4.5 | 4.5 |

(3) 稼働率(%)

| 4月  | 5月   | 6月  | 7月  | 8月  | 9月   | 10月 | 11月 | 12月  | 1月   | 2月   | 3月  |
|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|------|------|------|-----|
| 100 | 99.9 | 100 | 100 | 100 | 99.9 | 100 | 100 | 99.9 | 99.9 | 99.9 | 100 |

【介護支援専門員】

定期的な担当者会議を行う中で、施設での暮らしや行なっている介護サービスについて家族にお伝えしました。その際、本人・家族様のご希望やご質問を担当職員が直接聴かせて頂く事で、本人家族からのニーズに対しての思いを受けとり、作成した計画書の短期目標・長期目標を達成するために提供する介護サービスについて、多職種で検討確認を行いました。日々の暮らしの中で行なうサービスが、本人様と介護職員、家族様への動機付け、意識付けが出来るようにと心がけました。

看取り介護計画書は、主治医の診断後家族への説明を行い、施設で安心して最期の時を過ごして頂く事が出来るようにと心がけて作成しました。

【生活相談員】

前年度より引き続き、退居者が出た場合に空室期間が長くならないよう、迅速に次の入居者の受け入れができるよう体制を整備、空床期間をさらに短縮し、1日間以内に入居受け入れ実施を行った。ユニットごとに介護負担量が増加してきている中、受け入れが出来る状況と照らし合わせながら各部署が協力し合い、入居配置の調整を行う事で、スムーズに入居へ繋ぐことが出来た。事前面談は変わらず実施しているものの、入居までの間が空く事で状態に変化が生じるケースもあり今後の課題となった。入院による空床については、ショートステイと連携を図り期間の半数をショートで空床を利用

した。また、日常生活継続支援加算算定維持の為、重介護者の受け入れを積極的に行ったが、介護負担増加に伴い、福祉用具を今年度も導入し介護負担軽減を図った。今後も生活実態を元に、あらゆる支援、援助の方法を検討し、重介護へ対応できるよう整備していく。

日々の暮らしの中で入居者との関わりの時間を大切にし、不満や戸惑い等が無いか心を配り、気づいたことについては、ユニットリーダーを中心としたスタッフと共に改善に取り組んだ。

## 【介護】

開設より5年が経過し、年々介護度が増加し平均要介護度 4.5 となっている。日常生活において出来る限り自立動作を支援しているが、サポートが多方面で必要となり、目の前の介護、業務に追われる中においても、画一的なケアにならないように情報共有を重ね、個々に合わせたケアとなるよう努めた。また、その人らしさを大切にしながら寄り添う介護に取り組み、今年度から「ドリカムプロジェクト」と題し、其々に思いが叶えられる取り組みとして、個々に外出行事を実施した。入居の入れ代りや、看取り介護の方々等、全員実施は出来なかったが、皆様から喜びのお声や、家族との交流等を通して様々なやりがいとなる結果が得られたことを確信できたことは、今後も職員一丸となり継続して実施していく取り組みであり、施設、職員の強みとなった。また、ユニットごとに昼食レクリエーション(ピザデリバリー等)や居酒屋開店と個々の行事にも力を入れた。次年度も、他施設からの情報や施設内外の研修を通し、ありふれた日常生活の中で、様々な取り組みを実施し、ケア全体が向上となるよう努めていく。

## 【医務】

### 1. 健康管理

H30年4月～R2年3月

入院:5名(述11名) 救急要請:3件 入院中病院にて死亡:0名

平均入院日数:12.5日

入院病名:尿路感染症・誤嚥性肺炎・骨折・認知症の重篤化・慢性呼吸器疾患の悪化

前年度に比較して受診件数は約95件の減少がみられ、特に内科・皮膚科・整形外科が減少となった。入院数は減少し、入院期間(平均日数)も短縮したが、救急搬送依頼は2件と同数であった。

## 【受件数】

|      | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 内科   | 0  | 1  | 0  | 1  | 0  | 2  | 0   | 0   | 2   | 1  | 0  | 5  | 12 |
| 皮膚科  | 0  | 0  | 0  | 0  | 2  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  |
| 外科   | 0  | 1  | 1  | 0  | 1  | 3  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 2  |
| 整形外科 | 0  | 3  | 4  | 1  | 0  | 0  | 0   | 1   | 1   | 0  | 0  | 2  | 12 |
| 泌尿器科 | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  |
| 眼科   | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 2  |
| 歯科   | 0  | 2  | 1  | 1  | 0  | 1  | 1   | 6   | 1   | 0  | 0  | 0  | 13 |
| 神経内科 | 1  | 0  | 2  | 1  | 1  | 0  | 2   | 0   | 2   | 1  | 1  | 0  | 11 |

|        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|
| 心臓血管外科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2  |
| 脳神経外科  | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0  |
| 耳鼻咽喉科  | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 4  |
| 合計     | 2 | 5 | 7 | 6 | 2 | 3 | 3 | 1 | 7 | 4 | 3 | 8 | 51 |

### 【入院数】

|      | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  | 平均   |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|------|
| 実人数  | 0  | 0  | 0  | 1  | 1  | 1  | 2   | 2   | 2   | 1  | 1  | 0  | 11  | 0.9  |
| 延べ日数 | 0  | 0  | 0  | 4  | 8  | 21 | 35  | 39  | 12  | 16 | 15 | 0  | 150 | 12.5 |

【急搬送件数】 ※八尾徳洲会病院・八尾市立市民病院へ

### 搬送件数

|      | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 救急搬送 | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 1   | 0  | 0  | 2  | 3  |

救急搬送内容: 転倒による骨折疑い2件 痙攣発作1件

### 2 施設退去者状況

施設内看取り介護: 10名 転院(療養型病院)2名 自宅へ1名 他のサービス付介護施設1名。

医療連携施設: 八尾徳洲会総合病院・貴島病院・清心会メンタルクリニック・ハローデンタルクリニック・健志会歯科クリニック・甲野クリニック・八尾市民病院

前年度に比較して看取り介護による退去、最後をむかえる方が減少した。吸引・酸素療養による療養型病院への転院の選択をされた方は1名のみで、医療的ケアが必要なための退去(転院)は減少した。

### 3. 感染症対策

○ 結核予防 胸部レントゲン: 入居者 8月に施行

○ インフルエンザ予防接種: 入居者・職員 11月に施行

○ ノロ対策にてR1年10月～R2年3月 環境クロス ルビスタ導入

結果

・インフルエンザ罹患・・・2名。(職員) 入居者 0名

・ノロウイルス・・・0名。

### 【栄養】

行事食や旬の食材を取り入れた季節感のある献立作成を意識し、家庭的で美味しいと喜ばれる料理を目指した。栄養管理の体制として、栄養マネジメントは引き続き実施し、入居者様一人ひとり

に合った食事内容や環境の提供に努めた。さらに、訪問歯科と連携し、経口維持加算の算定を開始したことで、摂食嚥下機能障害のある方へのケアについて指導を受けることができ、適切な対応ができるようになった。

### 1.職員体制

| 職種    | 常勤 | 非常勤 | 合計 |
|-------|----|-----|----|
| 管理栄養士 | 1  | 0   | 1  |
| 栄養士   | 1  | 0   | 1  |
| 調理師   | 3  | 0   | 3  |
| 調理員   | 0  | 4   | 4  |
| 合計    | 5  | 4   | 9  |

### 2.行事食・季節料理

- 4月：春散し寿司(菜の花、桜田夫)、イースター(目玉焼きハンバーグ、ひよこまんじゅう)  
 寿司パーティー(握りずし、茶碗蒸し)
- 5月：端午の節句(チーズ入りハンバーグ、鯛まんじゅう)
- 6月：夏の献立(トマト、ピーマン、冬瓜、枝豆、とうもろこし等)
- 7月：七夕(七夕そうめん)、土用の丑(うなぎの蒲焼)、夏野菜カレー(オクラ、なす、南瓜)
- 8月：夏の献立(トマト、オクラ、冬瓜、ゴーヤ等)、冷やし中華、ざるそば、冷しゃぶ
- 9月：開設記念日(赤飯、紅白饅頭)、敬老の日(天ぷら盛)、十五夜(里芋、月見そば、お月見まんじゅう)、秋分の日(おはぎ風和菓子)
- 10月：ハロウィン(カボチャハンバーグ、カボチャババロア)
- 11月：秋の献立(秋刀魚、さつま芋、南瓜、茄子、きのこ類等)
- 12月：冬至(南瓜)、クリスマス(デザートバイキング)、大晦日(年越しそば)
- 1月：正月(おせち料理、七草粥)、鏡開き(ぜんざい)
- 2月：節分(伊ワシ、巻き寿司)、バレンタイン(チョコレート菓子)
- 3月：ひな祭り(散らし寿司、三色ゼリー)、春分の日(ぼたもち風和菓子)、  
 春の天ぷら(たらの芽、姫竹)、お花見(桜餅風和菓子、桜ご飯、菜種焼き)

## 【ショートステイ(短期入所生活介護)久宝寺愛の郷】

### 2、職員体制

| 職種       | 常勤 | 非常勤 | 合計 |
|----------|----|-----|----|
| U.L 兼相談員 | 1  | 0   | 1  |
| 看護師      | 1  | 0   | 1  |
| 介護職員     | 4  | 2   | 6  |
| 合計       | 3  | 5   | 8  |

### 3、利用状況

| 月     | 4   | 5   | 6   | 7   | 8   | 9   | 10  | 11  | 12  | 1   | 2   | 3   |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 利用者数  | 39  | 43  | 41  | 37  | 38  | 44  | 41  | 42  | 41  | 40  | 43  | 38  |
| 利用延人数 | 285 | 308 | 305 | 297 | 306 | 322 | 331 | 312 | 289 | 289 | 313 | 297 |

|        |      |      |       |      |      |       |       |       |      |      |       |      |
|--------|------|------|-------|------|------|-------|-------|-------|------|------|-------|------|
| 稼働率(%) | 95.0 | 99.0 | 102.0 | 96.0 | 99.0 | 107.0 | 106.8 | 104.0 | 93.2 | 92.0 | 107.9 | 95.5 |
|--------|------|------|-------|------|------|-------|-------|-------|------|------|-------|------|

#### 4. 取り組み

前年と同様、日々利用者が入れ替わる中で、利用者の方々が在宅生活を継続出来るようご家族様、各事業所との情報共有、報告・連絡・相談を徹底して行った。介護職員も常勤を増やし、サービスの質(入所中の余暇活動/脳トレ/運動不足予防の散歩/カラオケ)の向上をはかった。利用者の約9割はリピーターであり、日々の業務の質が評価されたものと思う。新型コロナの感染症が問題となった3月も、利用者の方が困らないようにと受入を継続した。ただ、平均要介護度が3.1であるため、転倒による事故も発生した。今後、事故防止の対策を強化する必要がある。

#### 【デイサービス(通所介護)久宝寺愛の郷】

新旧職員が融合し、引き続き利用者様との信頼関係を築けた。新規利用者の獲得も順調にできた。稼働率は月平均74%(定員35名として)、1日の平均利用者数25.9名(前年比-0.1人)となった。今後は継続して、居宅支援事業所への営業活動、自施設ショートステイと情報共有しながら、在宅で頑張っておられるご利用者様のサポートをしていきたい。

##### 1. 職員体制

| 職種        | 常勤 | 非常勤 | 合計 |
|-----------|----|-----|----|
| 管理者       | 1  | 0   | 1  |
| 生活相談員     | 1  | 0   | 1  |
| 看護師       | 1  | 2   | 3  |
| 機能訓練指導員   | 1  | 0   | 1  |
| 介護職員      | 1  | 5   | 6  |
| 送迎担当(運転手) | 0  | 4   | 4  |
| 合計        | 5  | 11  | 16 |

##### 2. 利用者数

| 月     | 4    | 5    | 6    | 7    | 8    | 9    | 10   | 11   | 12   | 1    | 2    | 3    |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 利用者数  | 733  | 718  | 627  | 679  | 688  | 685  | 694  | 674  | 653  | 654  | 640  | 665  |
| 延利用日数 | 25   | 27   | 26   | 26   | 27   | 27   | 25   | 27   | 26   | 26   | 25   | 26   |
| 稼働率   | 83.7 | 75.9 | 68.9 | 74.6 | 72.8 | 72.4 | 79.3 | 71.3 | 71.7 | 71.8 | 73.1 | 73.0 |

##### 3. 取り組み

利用者様に満足してもらえる様なレクリエーション、ボランティアによる踊り・歌等の実施。毎月のおやつレク、お誕生日会を開催した。個別機能訓練も徐々にではあるが人数も増加してきている。

次年度では、他事業所との交流会等を実施、レクリエーションのさらなる充実を図り、さらに楽しんで頂ける様な取組をしていく。また、IT化に取り組み、生産性の向上を目指し介護機器の導入を行っていく。また、総合事業(要支援)の運動器機能向上加算を算定開始する。

【八尾市地域包括支援センター 久宝寺愛の郷】

高齢者あんしんセンターとして、久宝寺・美園小学校区の地域活動に参加して、健康相談や啓発活動を実施し、支援センターとしての周知活動を行いました。3年目の周知活動は、地域の協力のものと概ね実施できました。

1.職員体制

|                  | 常勤 | 非常勤 | 合計 |
|------------------|----|-----|----|
| 社会福祉士<br>(管理者兼務) | 1  | 0   | 1  |
| 主任介護支援専門員        | 1  | 0   | 1  |
| 保健師              | 1  | 0   | 1  |
|                  | 3  | 0   | 3  |

2.利用者数(2019年度)

| 項目               | 年<br>月  |     |     |     |     |     |     |     |     |         |     |     | 合計    | 月<br>平均 |
|------------------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---------|-----|-----|-------|---------|
|                  | 19<br>4 | 5   | 6   | 7   | 8   | 9   | 10  | 11  | 12  | 20<br>1 | 2   | 3   |       |         |
| 直接プラン<br>介護予防支援費 | 3       | 3   | 3   | 3   | 2   | 3   | 3   | 4   | 4   | 4       | 4   | 4   | 40    | 3       |
| 直接プラン<br>マネジメント費 | 4       | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   | 3   | 5       | 3   | 4   | 47    | 4       |
| 原案委託<br>介護予防支援費  | 141     | 142 | 141 | 144 | 153 | 158 | 162 | 152 | 162 | 163     | 156 | 149 | 1,823 | 152     |
| 原案委託<br>マネジメント費  | 113     | 112 | 111 | 106 | 101 | 99  | 100 | 103 | 106 | 107     | 107 | 107 | 1,272 | 106     |
| 合計               | 261     | 261 | 259 | 257 | 260 | 264 | 269 | 263 | 275 | 279     | 270 | 264 | 3,182 | 265     |
| 相談受付             | 355     | 307 | 315 | 378 | 266 | 291 | 265 | 268 | 341 | 369     | 320 | 365 | 3,840 | 320     |
| 介護予防教室           | 1       | 1   | 3   | 2   | 1   | 1   | 2   | 1   | 2   | 0       | 0   | 0   | 14    | 1       |
| 家族介護教室           | 0       | 1   | 0   | 0   | 1   | 1   | 0   | 1   | 0   | 1       | 0   | 0   | 5     | 0       |
| 地域行事             | 5       | 8   | 9   | 6   | 5   | 8   | 4   | 8   | 7   | 6       | 4   | 0   | 70    | 6       |
| 実態把握             | 22      | 19  | 13  | 27  | 16  | 28  | 18  | 17  | 15  | 28      | 14  | 28  | 245   | 20      |
| 徘徊実態把握           | 0       | 0   | 0   | 0   | 0   | 13  | 0   | 0   | 0   | 0       | 0   | 0   | 13    | 1       |
| 河内音頭立ち上げ         | 0       | 0   | 0   | 0   | 1   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0       | 0   | 0   | 1     | 0       |
| 教室新規参加者          | 10      | 7   | 24  | 19  | 9   | 3   | 13  | 6   | 6   | 1       | 0   | 0   | 98    | 8       |

### 3. 取り組み

要支援1・2の介護保険利用者を地域の介護支援専門員と協力して支援する原案委託業務を継続的に実施しています。支援内容の適正化とともに、支援困難である内容を一緒に考える包括的業務を実施しています。

介護予防教室は、前年度同様にセンターを飛び出し、地域拠点での開催を実施しました。2・3月は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、実施できませんでした。

相談受付は、前年度同様の件数ですが、内容が困難であり継続的に関わりを持っているケースが増えています。加えて、地域からの相談事に電話対応や訪問活動を実施し、総合相談窓口としての機能を果たしています。職員が訪問中で、事務所不在時の対応が課題です。現状は、法人事務所での電話対応を実施しています。土曜・日曜は基本的に電話対応のみですが、相談受付は平日が多く、職員配置や情報の共有を考慮すると、現状の体制が効率的だと判断しています。

## 平成 31 年度 事故報告・ヒヤリハット報告について

高畑 洋子

### 1. 事故件数

■事故(アクシデント):120件 平成30年度より23件減

■ヒヤリハット(インシデント)件数:60件 平成30年度より22件減

### 2. 事故分析(アクシデント)

| 月       | 4  | 5 | 6  | 7  | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2  | 3 | 件数  |
|---------|----|---|----|----|---|---|----|----|----|---|----|---|-----|
| 食事      | 1  |   |    |    |   |   |    |    |    |   |    |   | 1   |
| 転倒      | 4  | 1 | 9  | 4  | 2 | 2 | 1  | 3  | 3  | 5 |    | 2 | 36  |
| 転落・ずり落ち | 1  |   | 1  | 2  | 1 | 3 | 3  | 4  | 6  | 1 | 3  | 1 | 26  |
| 入浴      | 1  | 1 |    |    |   |   |    |    |    |   |    | 1 | 3   |
| 与薬      | 1  | 2 | 3  | 1  | 1 | 1 | 5  |    |    | 1 | 7  | 1 | 23  |
| 利用者の出来事 | 2  | 4 | 3  |    |   | 1 | 1  | 1  |    | 1 |    |   | 13  |
| その他     | 1  | 1 | 1  | 4  | 3 | 1 | 2  |    |    | 1 | 1  | 3 | 18  |
| 計       | 11 | 9 | 17 | 11 | 7 | 8 | 12 | 8  | 9  | 9 | 11 | 8 | 120 |

### (ヒヤリハット)

| 月       | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2  | 3 | 件数 |
|---------|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|----|---|----|
| 食事      |   |   |   |   | 1 |   | 1  | 1  |    |   | 1  |   | 4  |
| 転倒      |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |    | 1 | 1  |
| 転落・ずり落ち |   |   |   |   |   |   |    | 2  | 1  |   | 1  | 1 | 5  |
| 入浴      |   |   | 1 |   |   |   |    |    |    |   |    |   | 1  |
| 与薬      |   |   |   |   |   |   | 1  | 1  |    |   | 1  | 1 | 4  |
| 利用者の出来事 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 |    | 2  | 2  | 6 | 5  | 2 | 25 |
| その他     | 2 | 2 |   | 1 | 2 | 1 | 3  |    | 4  |   | 2  | 3 | 20 |
| 計       | 3 | 4 | 2 | 2 | 4 | 3 | 5  | 6  | 7  | 6 | 10 | 8 | 60 |

○転倒が昨年度同様発生率多く21%、転落・ずり落ち17%、与薬16%だった。

与薬発生率昨年度より4%減少に留まり、意識改善が図れなかった。

自立動作可能な利用者、危険に対する認識が低い利用者も増えていることから、利用者の出来事が21%と多くみられた。

その他では、昨年同様表皮剥離、内出血が多くみられたが、発症後に発見する報告も多かった為、都度要因を探り事故防止に努めた。

○発生状況では、自立動作中が33%、介助中22%。

発生場所は54%と昨年同様居室が大半、次いでリビング20%、トイレ8%であった。

居室内での自立動作による転倒やベッドからのずり落ちなどの事故については、人感センサー・起き上がりセンサーを危険認識が特に低い利用者へ使用し行動の把握、未然に防げるよう対策としている。

○時間別分析

転倒:7時・13時・16時・20時に居室での発生が多かった。

転落・ずり落ち:ベッドからのずり落ちが多く6時・9時・12時・21時と転倒、転落共に夜間を除いては活動時間の前後に発生が多く見られた。

3.行政報告

転倒事故:骨折3件

4.その他

見守り支援対策として、居室内カメラ付きセンサーの試用を行った。今後導入について検討中。